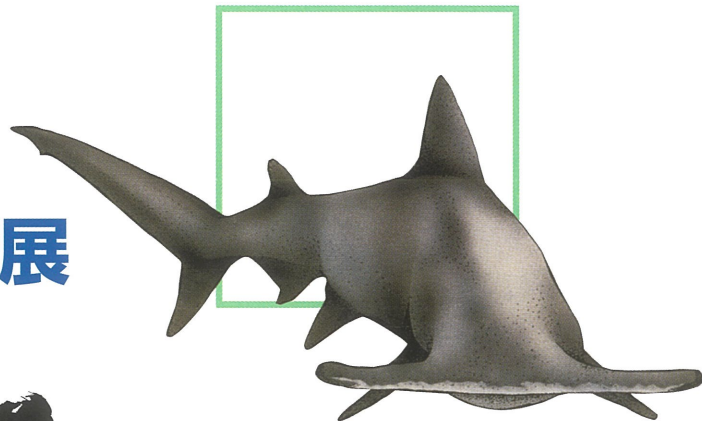


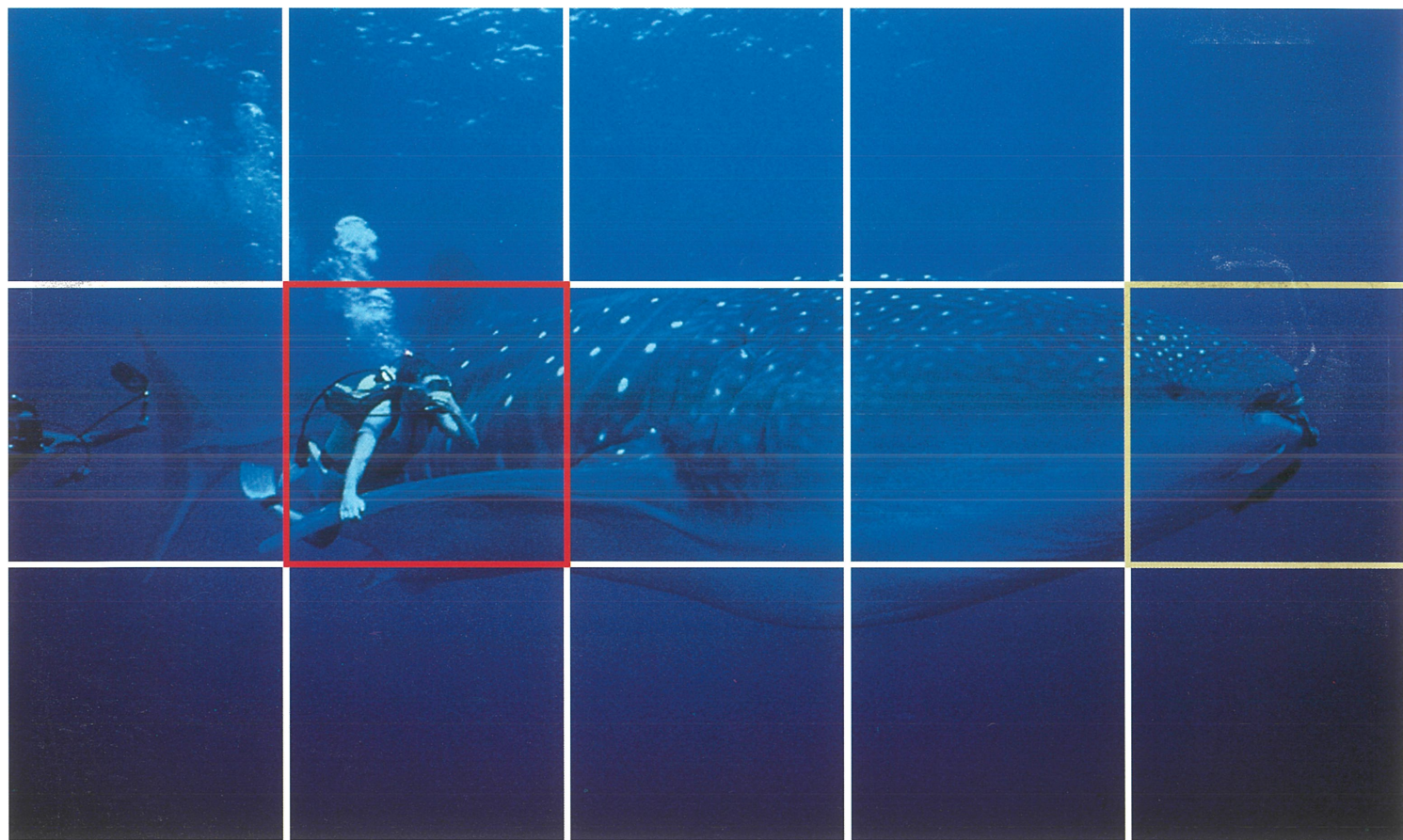
第7回 企画展



Sphyrna lewini

・太古からの使者

—— サメと人との共生を考える ——



Rhincodon typus

SHARKS ! Messengers from Ancient Times

企画展記念シンポジウム
1996年8月11日(日) 午後1時～
講堂兼映像ホール

1996年 7月6日〔土〕 ▶ 9月16日〔月〕

協力：ロサンゼルス郡立自然史博物館

■開館時間 午前9時30分 — 午後5時
〔入場は午後4時30分まで〕

■休館日 毎週月曜日
〔但し9月16日(月)は開館〕

次回企画展 森の輪舞 —キノコの神秘—
1996年10月12日(土)～12月8日(日)まで

■入館料
小・中学生 140円 (70円)
高・大学生 420円 (280円)
大人 700円 (560円)

※ () 内は20名以上の団体料金です。
この料金には常設展・野外入場料が含まれています。



ミュージアムパーク

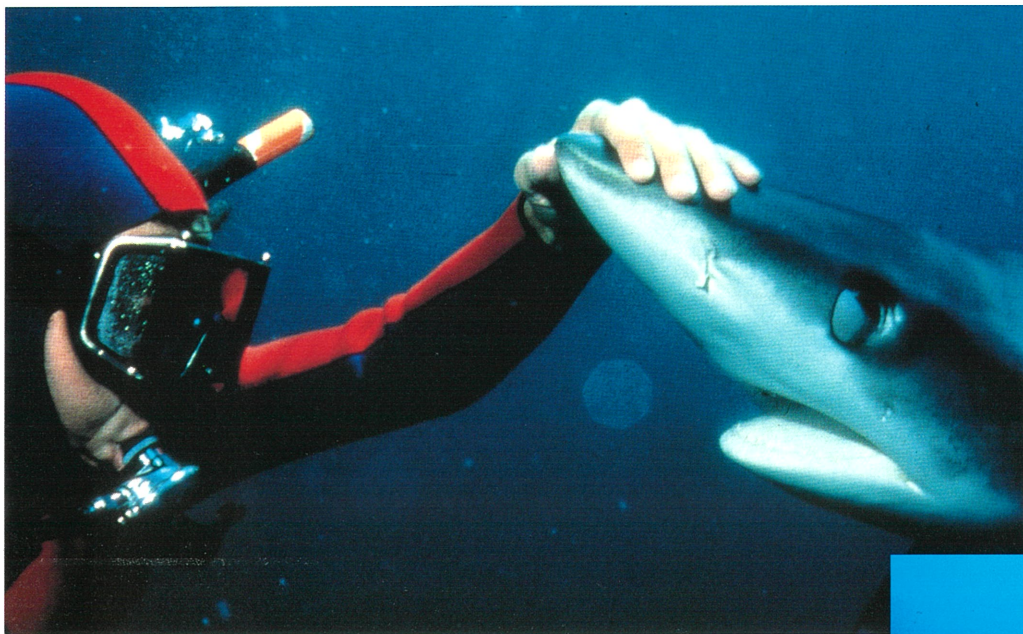
茨城県自然博物館

〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000
ハローダイヤル いばさき 029-226-8600 #8886 (プッシュ回線)

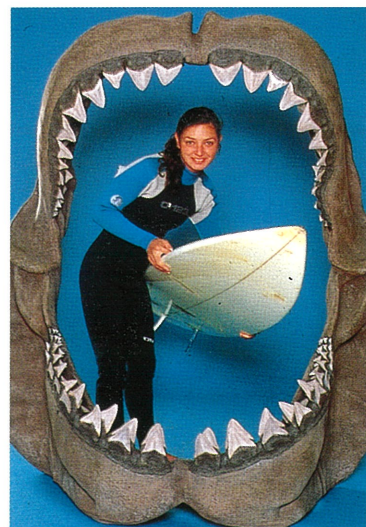
最初のサメ類は、いつごろ出現したのでしょうか。恐竜が現れるずっと以前の約4億年前（古生代デボン紀）に地球上に出現したと考えられています。その後、サメ類は繁栄や絶滅を繰り返しながら独自に進化発展を遂げ、約6千5百万年前（中生代白亜紀末）には現在のサメの大部分の種類が出そろいました。

人を襲うこともある種類はサメ全体からみれば、ほんの一部です。地球上で最大の魚（全長13m以上）であるジンベエザメや二番目に大きい魚（全長10m以上）であるウバザメはプランクトンを餌とする無害でおとなしいサメです。サメについてはまだまだ謎の多いところがありますが、サメほど話題になり、そして誤解されている動物はおそらくいないのではないでしょうか。

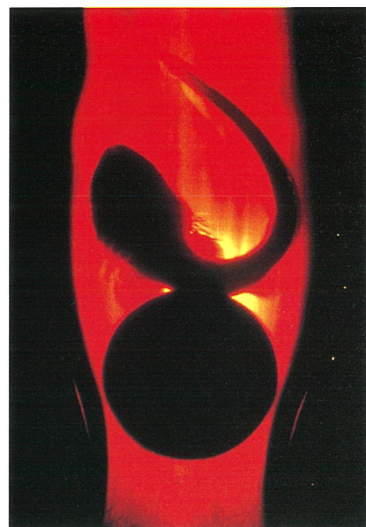
この企画展を機に、多様なサメの真の姿を知り、私たちと同じ地球上の仲間として改めて見直していただければと思います。



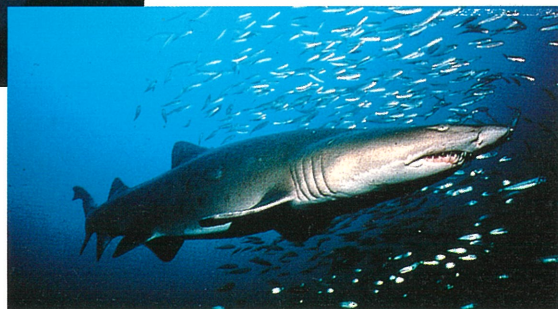
●サメと人とのふれあい



● **カルカロドン・メガロドン**
今から約1,500万年から300万年前に栄えた肉食性の大型のサメで、歯の両側にギザギザ（鋸歯）があるのが特徴。



●ネコザメの子ども
卵殻の中で卵黄を吸収しながら育つ。



1. サメウォッチング
2. ジオラマによる海底散歩
3. 生きものとしてのサメ
 - 3-1. サメの多様性
 - 3-2. 進化
 - 3-3. 内部構造
 - 3-4. 歯と食事
 - 3-5. 皮膚
 - 3-6. 嗅覚
 - 3-7. 聴覚
 - 3-8. 電気受信
 - 3-9. 視覚
 - 3-10. 行動
 - 3-11. 繁殖
 - 3-12. ビデオ
4. サメと文化
 - 4-1. 資源管理
 - 4-2. サメの攻撃
 - 4-3. 世界のサメと文化
5. 日本のサメ・茨城のサメ
 - 5-1. サメの進化
 - 5-2. サメって何だろう
 - 5-3. 茨城のサメのいろいろ
 - 5-4. サメではないサメ
 - 5-5. サメタッチング水槽
6. 日本のサメと文化
7. サメと人との共生